

■■メールマガジン「静岡県防災」第72号■■

～「一日前プロジェクト」エピソード集 もし、一日前に戻れたら…～

このたび内閣府（防災担当）では、「一日前プロジェクト」エピソード集（令和8年3月）を公開しました。

エピソードは、令和6年能登半島地震の体験談15本と、昨年9月に本県を襲った令和7年台風第15号災害の体験談7本の合計22本です。

台風第15号では、窓やガラスに近づかないことや雨戸を閉めておくこと、停電への備えの重要性等が語られています。

また、能登半島地震では、多くの方が、「以前大きな地震が来たので、もう能登には大きな地震が来ないという思い込みがあった。」と語っています。

本県では、直近の比較的大きな地震は、平成21年8月の「駿河湾を震源とする地震」や同年12月の「伊豆半島東方沖の地震」、また平成23年3月15日の「静岡県東部地震」でそれ以降、約15年間来ていません。

そのためか、子どもの防災講座後のレポートを見ると、「私の地域では地震は来ていないので・・・」等の記載も見られます。

最近は各地で地震が相次いで発生し、静岡でもいつ大地震が起きてもおかしくありません。また、これから出水期に入り、風水害の発生も予想されます。

「災害は忘れた頃にやってくる」と言われます。

一日前プロジェクトの被災された方の経験も参考に、共に災害に備えてまいりましょう。

【一日前プロジェクト（内閣府防災HP）】

<https://www.bousai.go.jp/kyoiku/keigen/ichinitimae/index.html>